

麻酔科・集中治療部

a. 体制―当該年度の特徴・スタッフ等

2023 年度はコロナ禍の影響を脱して手術件数が完全に回復し、麻酔科管理件数は年間で 3890 件と直近 15 年で最多を記録した。

2023 年 1 月の 3 階手術室 2 室（眼科/局麻用：Room-31, 32）に続いて、2023 年 9 月には心臓外科専用手術室（Room-21）とハイブリッド手術室（Room-22）が完成した。後者は西日本トップクラスの床面積を誇る。本館改修計画の最終段階としての中央手術部拡張工事の完了であり、これで手術室は計 4 室増となった。

ハイブリッド手術室導入の最大の目的である TAVI 手術申請のための心臓外科 AVR 症例は 2023 年に何とか基準を満たし、2024 年度中の TAVI 開始を目指して鋭意準備を進めている。

また無痛分娩導入に向けて準備を進め、当初は経産婦の計画分娩に限定しながらも 2024 年 2 月に無事第 1 例が誕生した。以後およそ月に 2 例のペースで順調なスタートを切った。麻酔科は分娩室での硬膜外カテーテル挿入からテストドーズ確認までを担当している。

麻酔科管理の予定手術 8～9 列、24 時間 365 日の麻酔科当直（その多くは ICU 当直兼務）という当科の大原則は引き続き維持することができた。

一方で人事面では厳しい 1 年間であった。2022 年度末で若手の医員 1 名と専攻医 1 名が退職した補充がなく、産休育休取得者、療養者が続き、また専攻医の 3 か月間の ICU ローターションも重なり、若手が減って年配者にしわ寄せがいくという非常に厳しい麻酔科運営を強いられた 1 年間であった。麻酔科の人員は 2023/4/1 の時点では計 13 名（男 7 女 6）であったが、上記のごとく 1－3 名少ない時期が長く続いた。

集中治療部は、2022 年 11 月に移転拡張してベッド数が 7 床から 10 床に増えた効果もあって、入室症例数が 872 例と前年度比 43%もの増加であり、ICU 研修を希望する医師と共に充実した ICU 活動を行うことができた。

スタッフ

麻酔科主任部長・中央手術部長	加藤茂久
麻酔科部長	足立健彦
集中治療部主任部長	宮崎嘉也
麻酔科部長	黒寄明子
副部長	原朋子
副部長	直井紀子
副部長	前川俊
副部長	村田裕
医員（短時間勤務正職員）	柚木圭子
医員（3/31 退職）	中村緑

医員（6月より産休育休中）	中辻史織
医員	辻和也
専攻医	岡本峻和
専攻医	吉盛太朗

b. 診療実績—臨床統計等

麻酔科管理症例数	3 8 9 0 件
内 全身麻酔数	3 3 8 5 件
内 緊急手術数	4 2 6 件

集中治療部入室症例数	8 7 2 件
内 人工呼吸症例数	1 5 1 件
内 血液透析症例数	3 5 件
内 コロナ陽性症例数	2 5 件

c. 研究実績

麻酔科

【研究】

- 1 麻酔台帳 I T 化を利用した周術期合併症の要因分析（原 朋子）
- 2 糖尿病患者の術前コントロールと周術期合併症に関する後ろ向き研究（直井紀子）
- 3 新生児、乳児の鏡視下手術の麻酔管理（黒寄明子）
- 4 小児前投薬における経ロミダゾラムシロップの有用性に関する研究（黒寄明子）
- 5 高度低肺機能患者の胸腔鏡下手術における自発呼吸下麻酔の有用性および安全性に関する研究（加藤茂久）
- 6 術後悪心嘔吐の予防目的で術中投与するドロペリドールの副作用である錐体外路症状に関する調査研究。特に若年者における状況（加藤茂久）
- 7 当院における下肢切断術後の予後に関する研究（加藤茂久）

【学会】

- 1 岡本峻和 宮崎嘉也 Nivolumab 投与による癌治療中に急激に生じた糖尿病性ケトアシドーシスの一例 集中治療医学会第 7 回関西支部学術集会 2023/7/29 （兵庫）
- 2 岡本峻和 黒寄明子 乳児臍胸に対する胸腔鏡下胸膜搔爬術の麻酔経験 日本小児麻酔学会第 28 回

大会 2023/10/7 (福井)

- 3 黒寄明子 小児の処置における鎮静 一般病院で安全に行うために 小児麻酔学会第 28 回大会 2023/10/8 (福井)
- 4 黒寄明子 岡本峻和 吉盛太朗 小児腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術に声門上器具を使用した連続 140 例の検討: PLMA と i-gel の比較 日本臨床麻酔学会第 43 回大会 2023/12/8 (宮崎)
- 5 吉盛太朗 中村緑 足立健彦 ハローベスト装着を伴う頸椎後方固定術後の覚醒時興奮・せん妄を予防できた小児の一例 日本臨床麻酔学会第 43 回大会 2023/12/8 (宮崎)

集中治療部

【研究】

- 1 周術期における上肢静脈エコーの有用性に関する検討 (宮崎嘉也)

【学会】

- 1 岡本峻和 宮崎嘉也 Nivolumab 投与による癌加療中に急激に生じた糖尿病性ケトアシドーシスの一例 日本集中治療医学会第 7 回関西支部学術集会 2023/7/29 (兵庫)